

はじめに

記録的な寒さとさわがれた今冬もようやく去り、日中の日差しもずいぶん柔らかくなった。

ここに「地域経済」第4集をお届けする。当地域経済研究所は昭和56年の発足であるが、その前身である同名の研究会の誕生(51年)から数えると8年になる。その間、ほぼ隔年に論集(地域経済)を発行してきたが、本年度より毎年の刊行を企図し、昨年の第3集に引続いてお届けする次第である。既刊のものはいずれも特集号(第1集開学十周年記念、第2集輪中、第3集十六輪中)で浩瀚なものであるが、本号は、自由研究の形をとり、体裁もごらんのようなものとなった。研究の対象地域も外国にまで及んでいる。現在、明年の発行を目標に、岐阜県の自由民権運動の総合研究を実施中で、次号はこれの特集が予定されているので、今後は、総合研究の特集と、このような自由研究スタイルのものが交互に出ることになるろう。

先にも述べたように、当研究所の歴史はきわめて浅く、直接これの運営の任に当たっているわれわれは、何とか実績の積み上げをと努力を重ねているのであるが、こればかりは一朝一夕には行かない。また少数の者の力ではどうにもならない。こういう意味で、今回執筆いただいた方がたには御無理をお願いし、御協力をえた。深謝申し上げたい。

ささやかな前進の歩数をさらに進めえた喜びを記し、また、今後とも変らぬ御協力と御援助をお願いして、巻頭の言葉に代える次第である。

岐阜経済大学地域経済研究所

所長 大迫輝通